

施策項目 1 8 幼児教育の充実

【評価結果】

【担当課: 幼児教育推進センター(義務教育課、社会教育課)】



担当課HP

総合評価	計画どおり
------	-------

定量評価 [指標]	A
-----------	---

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	1	2	0	0
	d 評価となった指標				

定性評価 [施策]	進展あり
<p>幼児教育の充実に向けて、研修・助言体制の整備が課題となっていることから、園内研修用素材や動画教材の作成・配信、ICTを活用した公開保育及び幼児教育相談員のリモート助言を実施することで、本道の広域性や感染症対策等の課題解決が図られ、公開保育に200園以上が参加した。</p> <p>幼児教育施設と小学校の連携促進について、合同研修会の実施や幼児教育施設の意見を踏まえたスタートカリキュラムの作成が課題となっていることから、幼小連携・接続のハンドブック、モデル事業の好事例をまとめた動画を活用して研修を行ったこと等、施策の進展が認められる。</p> <p>子育てや家庭教育に関する学習機会や情報提供が実施できており、施策の進展が認められる。</p>	

【施策の推進状況】

【P】・・・「Plan 令和3年度の主な施策」 【D】・・・「Do 主な取組の状況」
 【C】・・・「Check 施策の課題」 【A】・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	(1) 幼児教育の充実 ・ 広域の本道にあって幼児教育施設の保育者が参加しやすい研修体制の整備、園内研修の充実に向けた幼児教育相談員等の人材確保
	(2) 幼稚園、認定こども園、保育所と小学校との連携の促進 ・ 幼小接続に関する好事例の普及及び幼小接続に関する研修の充実 ・ 幼児教育施設の意見を踏まえたスタートカリキュラムの作成並びに丁寧な引継ぎが求められている
	(3) 子育て支援活動の推進 ・ 関係機関と連携した親子のふれ合いの場を提供、電子メディアの適切な利用を含む、生活習慣の定着に関する啓発資料の作成、学習機会の確保

(1) 幼児教育の充実	
[P]	<p>①全道調査により各施設の研修ニーズとして明らかとなった「保健衛生・安全対策」「幼児教育理解」に関して、Web会議システムやオンデマンド教材を活用した研修の充実</p> <p>②公開保育への参加機会の拡充と保育者がよりイメージを共有して議論するための保育場面をベースとした園内研修教材の作成及びこれらを通じた園内研修の促進</p>
[A]	<p>①幼児教育相談員を講師として、計画的にオンライン研修を実施・録画することで、各施設の研修ニーズに対応した研修素材を充実</p> <p>②幼児教育相談員等を助言者として保育場面の検証を行う園内研修の拡充や保育事例のテキスト教材を活用した園内研修の促進</p>
(2) 幼稚園、認定こども園、保育所と小学校との連携の促進	
[P]	<p>①「幼児教育と小学校教育の連携・接続ハンドブック」を活用した研修により、幼児教育施設や小学校、市町村教育委員会等に幼児教育の重要性及び連携体制構築の必要性に関する理解促進</p>
[A]	<p>①幼児教育担当指導主事等研究協議会において、「幼児教育と小学校教育の連携・接続ハンドブック」を活用した説明のほか、映像資料も活用し、幼小連携・接続の好事例を共有</p> <p>また、14管内で実施する幼小連携・接続担当者研修において幼小連携・接続の推進に向けた自治体の役割を説明</p>
[A]	<p>①令和4年度小中学校教育課程編成の手引として作成した「幼児教育の充実」についての説明スライドを活用することで、幼児教育施設と合同でスタートカリキュラムを作成する小学校を拡充</p>
[A]	<p>①スタートカリキュラムについて、幼児教育施設の意見を踏まえて作成されていない学校が道内に18.7%あることから、指導主事の学校訪問を通じて、小学校の管理職に対して、スタートカリキュラムを保護者や幼児教育施設へ情報提供することの指導及び自治体を中心とした合同研修会の実施を促進</p>

(3) 子育て支援活動の推進	
【P】 ①ブックスタートや乳幼児検診・就学時検診などの機会を活用した子育て講座等の取組への支援 ②道内すべての市町村において実施する子育て講座等（子育てサロンやサークル、オンライン等による学習機会の提供を含む）の取組支援	①・② 各市町村による、ブックスタートや乳幼児検診・就学時検診などの機会に実施する子育て講座等で活用する学習資料や情報の提供、オンラインやオンデマンドによる講座等などの支援
【A】 ①市町村教育委員会で実施している子育て支援活動に限らず、その他の部署で実施している子育て支援活動についての調査内容を強化・充実 ②市町村教育委員会との連携により、道教委が作成する家庭教育支援に関するオンデマンド教材の活用やオンライン研修での情報提供を一層促進	①・② ・各市町村における子育て支援に係る組織体制も時代とともに変化していることから、教育委員会以外の部署で実施している子育て支援活動についても把握が必要 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、保護者を対象とした学習機会の確保が困難な状況であることから、オンラインやオンデマンドの活用による学習機会の確保が必要

【指標の状況及び評価】

指標の内容	基準値	目標値（上段）						進捗率	評価	出典 (調査名等)	実施主体	調査期 日又は 調査対 象期間	指標の 対象
		実績値（下段）											
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)						
① 域内の幼稚園、認定こども園及び保育所、並びに小学校間の意見交換や合同の研修会の機会を設けている市町村の割合(%)	(H28) 66.3	73.0	89.5	93.0	95.5	100	100.3%	a	教育活動等に関する調査	道教委	R3年度中	市町村	
② 域内の幼稚園、認定こども園及び保育所の意見を踏まえて小学校入学後のスタートカリキュラムを編成している小学校の割合(%) (再掲) (本掲は、「施策項目21」)	(H28) 56.4	65.0	76.7	84.5	91.5	100	96.2%	b	教育活動等に関する調査	道教委	R3年度中	小学校	
③ 多くの親が集まる機会を活用した子育て講座を実施している市町村の割合(%)	(H28) 98.9	100	100	100	100	100	97.8%	b	乳幼児及び就学時検診時等の保護者を対象とした学習機会の実施状況調査	道教委	R3年度中	市町村	
評価結果	(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価		A	d 評価に対する今後の取組					
	1	2	0	0									